



## 研究調査報告

# 海外神社跡地のその後 侵略神社・香港

調査：2015年1月25日～2月1日

辻子 実  
(非文字資料研究センター 研究協力者)

### 香港

香港の観光パンフを見ると、あこがれのホテルの筆頭として挙げられるのが、ザ・ペニンシュラ香港（香港半島酒店）だが、ザ・ペニンシュラ香港本館3階336号室には、泊まることはできない。1941年12月25日、日本軍が司令部を置いたのがこの部屋で、イギリス側との降伏条件交渉が行われた歴史があるからである。

1941年12月13日、日本軍は香港・九龍半島の要塞地帯ジン・ドリンカーズ・ラインを突破し、九龍半島を制圧。そして、12月25日、イギリス軍は降伏し日本軍の軍政下に入る。香港では、「暗黒のメリークリスマス（黒色聖誕節）」と呼ばれている。

イギリス領香港総督が日本に降伏した1941年12月25日から、日本がポツダム宣言受諾によって降伏する1945年8月15日までの3年8ヶ月間にわたる日本統治時期を、香港では「三年零八個月」と呼んでいる。

占領後、日本軍政府は、直ちに香港ドルに代わる貨幣として、悪名高い「軍票」を大量に発行した。そして、なんら保障ない軍票と交換された「香港ドル」は、ポルトガル領マカオでマネー・ロンダリングされ軍用資材などの購入などに使われたのである。【写真1】

ヨーロッパ植民地からのアジア解放を旗印に掲げた「大東亜（植民地解放）戦争」にも関わらず、マカオが解放されなかったからくりがここにある。



写真1 香港軍票

### 侵略神社・香港

香港にあった神社に関しては、日帝下香港の歴史に関する先駆者である和仁廉夫氏の『香港一旅行ガイドにならないアジアを歩く』（梨の木舎・96）などで語り尽くされていると考えていた。

アジア各国に軍靴を進めると同時に、各地に侵略神社が創建されていくが、有名な神社（神宮）としては、台湾神社（神宮）、樺太神社、朝鮮神宮、南洋神社（パオラ）、昭南神社（シンガポール）、そして戦時中最後に発行された鎮座記念切手で有名な関東神宮などがある。これらの神社は、当時の絵葉書や雑誌などで、概ねその規模などを知ることができる。

### 南海神社

絵葉書や雑誌などに載っていないのに、南海神社が有名なのは、靖国神社附属博物館である遊就館に社号碑が展示されているからである。しかし、神社の鎮座地に関しては、不明だった。【写真2】

遊就館展示解説では一この「碑」は大東亜戦争中、第二遣支艦隊香港攻略戦以後の麾下戦死者を祀るため、

1942年に香港島にあった艦隊司令部構内に造営した「南海神社」の境内入口に建っていたものである。戦後その司令部庁舎は元の英国陸軍兵舎（ビクトリアバラックス）に戻ったが、英国陸軍はこの碑を破棄することなく三十余年を経た1978年夏、兵舎移転に際して、旧日本海軍関係者が希望するならば返してもよいとの好意を示した。大東亜戦争中に海外戦地に建てられた、この種の建造物で、現存するものは殆ど無い。香港攻略戦当時



写真2 南海神社社号碑

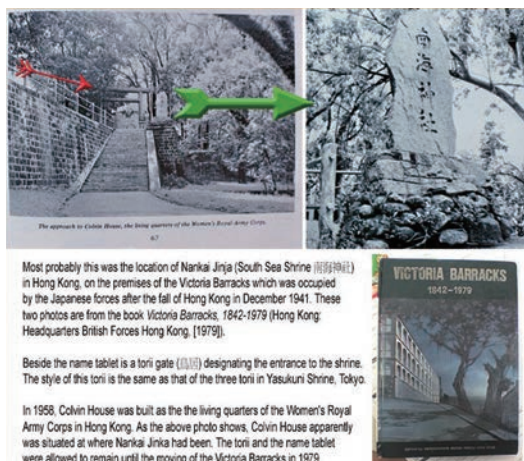


写真3 『VICTORIA BARRACKS 1842-1979』 P99・105

の海軍最高指令官であった新見政一元中将以下、旧海軍の関係者有志が協力して、1980年6月18日香港から移設し、靖國神社に奉納されたのである。碑面揮毫の原清中將は新見司令長官の後任者である。一と記されているが、ビクトリアバラク스가、どこにあったのかは記されていない。

『VICTORIA BARRACKS 1842-1979』(HEADQUARTERS BRITISH FORCES HONG KONG・1979)を紹介したサイトに出会い、南海神社跡地調査を行った<sup>(1)</sup>。【写真3】



写真4 1977年当時のビクトリアバラクス



写真5 ビクトリアバラクス跡地(2014年)

南海神社は、「営内神社」と呼ばれる神社である<sup>(2)</sup>。軍営内は、軍事機密として地図上でも白紙であることが多く、絵葉書や雑誌などに載ることもなく、軍隊日誌などにその存在が散見されるに止まっている。

そのような事情であっても、南海神社に関しては『VICTORIA BARRACKS 1842-1979』に階段が写っているの、位置の特定は容易と考えていたが、ビクトリアバラクス跡地は、香港公園などに造成され、軍営だった面影は残っていない。

今回の調査に協力して頂いた高添強氏<sup>(3)</sup>から、階段が描かれている地図を提供して頂き、鎮座地の特定はできたが、跡地には英国領事館・英国文化協会が建てられており、今回の調査では神社遺物は確認できなかった。【写真4、5】

### 国民学校内神社(香港神社)

香港国民学校にあった校内神社「香港神社」も確認されている<sup>(4)</sup>。

旧香港国民学校の校舎及び跡地は、聖保羅男女中学校として転用されてきたが、現在は政府管理建物になっており、中庭にある神社遺物の確認はできなかった。歴史的建造物ということで、建物は保存されるようである。

(香港国民学校跡地・堅尼地道 Kennedy R 26)

香港国民学校にあった神社狛犬(L=400.H=650.W=250)は、日本人学校小学部に1997年頃に寄贈され、



写真6 旧香港国民学校



写真7 日本人学校





玄関に設置されている。(藍塘道 Bule Pool R.57)【写真 6、7、8】

狛犬の基壇には「昭和十六年六月献之・京都市西山観一」と刻まれる。

## 香港神社

香港では、未鎮座に終わっているが「香港神社」の創建が計画されていた。

香港神社は、「大東亜共栄圏の大親神として、また香港の守護神として、広大無辺なる御神徳を讃え奉り、香港香ヶ峰の中腹眺望絶景清明の地域をトして天祖天照大御神の永遠の御鎮座を仰ぎ奉りたる神社である。目下鋭意建設が急がれている<sup>(5)</sup>。」

香港国民学校内神社も「香港神社」という名称だったこともあり、紛らわしいが、官社として創設計画がなされている。

香港神社(計画)社殿鳥瞰図<sup>(6)</sup>を「満州国」建国忠霊廟と比較してみたい<sup>(7)</sup>。

内苑神門及び廻廊は、建国忠霊廟様式と仮称したい建築様式であるが、帝冠様式を採用したのであろう。拝殿・



写真 8 国民学校狛犬  
L=400.H=650.  
W=250 (2)

本殿は、木造建築で計画されたものと思われる。鳥居は、侵略神社に多く見られる「靖国鳥居」ではなく、「明神鳥居」のようである。ともかく、台湾の建功神社と並んで、従来の神社建築様式と大きく異なる社殿群が計画されていたようである。【写真 9、10】

上亜厘畢道 Upper Albert R. に建立という記録があり、香港動植物公園(旧・大正公園)は、神社の内苑計画だったようである。

香港動植物公園と総督府の間の上亜厘畢道 Upper Albert R は、1945 年後の造成によって地形が変わっているため、鎮座地の特定は困難になっている。

## セント・アンドリュース教会

九龍のセント・アンドリュース教会(彌敦道 NathanR.138)は、HPで「第二次世界大戦中は、日本の占領軍が司令室そして神道神社として使用していました<sup>(8)</sup>。」と、記しているが、『教会 100 年誌』では「1945 年に開放された際、セント・アンドリュース教会は神社として使われていました。神主と憲兵隊長が旧牧師館に住んでいました<sup>(9)</sup>。」「教会は仏堂に変えられてあり、祭壇や旗が飾られてあり、火葬された兵隊の灰も棚に並べられていました<sup>(10)</sup>。」と表現に差異がある。

「骨壺」を神棚に置くことは考えられないので、神社



写真 9 香港神社鳥瞰図



写真 10 建国忠霊廟



写真 11 セント・アンドリュース教会



写真 12 セント・アンドリュース教会・牧師館

があった説に関しては、不明な点が多い。今後、写真などによる検証が必要であろう。【写真 11、12】

### 忠霊塔

巨大な「忠霊塔」も建設されていた。

「香港九龍全地域は勿論、港内に出入する船舶、並に遠く南方海上を航行する艦船よりも、直ちに敬仰し得る香港島要部の略々中央、金馬倫山西側二軒屋高地上（将来忠霊塔の高地と命名される予定。標高約 335m）に、陸海軍協同して各方面有志の寄附金をも加へ公費百四万円を投じ、支那事変、大東亜戦争を通ずる南支作戦地域唯一の忠霊塔を建設し、同作戦間死没せる軍人軍属の全遺骨を納めて、永く其遺烈を顕彰すると共に、聖戦の意義を明確にせんとするもので、目下工事中である。」<sup>(11)</sup>

その基礎石積みは、現在も超高級マンション嘉樂苑の外縁部石積みとして残っており、忠霊塔の計画規模が想起できる。【写真 13】



写真 13 香港・忠霊塔完成予定図

（現・馬己仙峽道 Magazine Gap R.）

引用文中の元号は西暦に改変

### 【参考文献】

『VICTORIA BARRACKS 1842-1979』（HEDQUARTERS BRITISH FORCES HONG KONG・1979）

『香港—旅行ガイドにないアジアを歩く』（和仁廉夫・梨の木舎・96）

『香港日本人学校の歴史』（樫村富士夫編著・香港日本人小学校・2006）

香港都市案内集成第 10 巻・「軍政下の香港—新生した大東亜の中核」（濱下武志・李培徳・監修解説、ゆまに書房、2014 年 12 月 25 日）原典、斎藤幸治著・香港東洋経済社・1944 年 2 月 20 日

『celebrating St.Andrew's church-100 years of history, life and personal faith』（St.Andrew's church・2004）

### 【注】

(1) Nankai Jinja, Hong Kong (South Sea Shrine) , 1942-1945

<http://www.louis-chor.ca/nankaiji.htm>

(2) 管内神社に関しては、坂井久能の「管内神社の創建」『国立歴史民俗博物館研究報告』147（2008 年）などが詳しい。

(3) 『香港今昔』（三聯書店（香港）有限公司・2013 年）『香港戦地指南・1941』（三聯書店（香港）有限公司・1995 年）などの編著書がある。

(4) 『香港日本人学校の歴史』樫村富士夫編著・香港日本人小学校・2006

(5) 『香港都市案内集成第 10 巻・「軍政下の香港—新生した大東亜の中核」（濱下武志・李培徳・監修解説、ゆまに書房、2014 年 12 月 25 日）原典、斎藤幸治著・香港東洋経済社・1944 年 2 月 20 日

(6) 『香港都市案内集成第 10 巻・「軍政下の香港—新生した大東亜の中核」（濱下武志・李培徳・監修解説、ゆまに書房、2014 年 12 月 25 日）

(7) 建国忠霊廟建築様式については、『「満洲国」建国忠霊廟と建国神廟の建築について —両廟の造営決定から竣工にいたる経過とその様相—（津田良樹・神奈川大学 21 世紀 COE プログラム研究推進会議・2008 年）に詳しい。

(8) 1945 : St Andrew's Church was used as a Shinto shrine and the old vicarage used as a Japanese

<http://www.standrews.org.hk/about-us/our-history/>

(9) 『celebrating St.Andrew's church-100 years of history, life and personal faith』St.Andrew's church 2004・P17

in time to be interned during the Japanese occupation. When he was released in 1945, he found St. Andrew's had been made into a Shinto shrine. A Shinto priest and the local chief of the Japanese Secret Police had been living in the Old Vicarage.

(10) 『celebrating St.Andrew's church-100 years of history, life and personal faith』St.Andrew's church 2004・P18

which had been transformed into a Buddhist temple, complete with altars, banners, etc. and with the ashes of dead soldiers in racks.

(11) 『香港都市案内集成第 10 巻・「軍政下の香港—新生した大東亜の中核」（濱下武志・李培徳・監修解説、ゆまに書房、2014 年 12 月 25 日）